

新・文化庁は
令和5年3月27日
京都での業務を開始します。



文化庁

地域文化創生本部だより

Vol.19

新・文化庁に エール

京都駅ビル開発 湊社長に聞く 「京都で輝く“新・文化庁”」



平安建都1200年記念事業の一つとして、京都府、京都市、京都商工会議所と当時の国鉄が事業主体となり、国際文化観光都市の玄関にふさわしい4代目駅舎として改築された京都駅ビル。京都駅ビル開発株式会社は、この駅ビルを単にターミナルとしてだけではなく、京都の文化観光の発信拠点に据え、大小様々な事業を展開しています。今回は、湊和則社長に今後の駅ビルの取り組みやJR西日本グループの一員として進める京都発の文化観光振興策の展望、さらには来春に京都で業務を開始する新・文化庁へ期待することなどを、文化庁 地域文化創生本部の高田行紀事務局長がお伺いしました。

【文化庁 地域文化創生本部】TEL:075-330-6720(代表) 東山区東大路通松原上ル三丁目毘沙門町43-3

駅ビルを拠点とした
文化観光事業について
教えてください

京都駅ビルは、「伝統的文化と現代的文化を結ぶアート・ギャラリー」を基本コンセプトに、人と物のための機能空間がダイナミックにデザインされ、建築文化の世界に鮮烈な刺激を与えています。駅ビル内には京都劇場、美術館「えき」KYOTOと7つのイベント広場があり、イベント広場ではこれまでJR西日本グループで「祇園囃子演奏会」や「駅ビル新能」などを開催してきたほか、地元京都の学校や各種団体など幅広い文化芸術の発表の舞台として、活用いただいています。

鉄道事業に携わる我々JR西日本グループは、地域の文化芸術を重要な観光資源として捉え、そこからもたらされる人々の交流や賑わいを地域の繁栄に活かしていくために、各地域の文化的施設や行事・取り組みに積極的に向き合うことを大切にしています。

弊社はこの駅ビルを拠点として、これからもビルの特徴的な空間を余すことなく活用し、地域と連携したイベント等の開催や協力を行うことにより地域の魅力を高め、京都の文化芸術を発信していきたいと考えています。



京都駅ビル開発 湊社長

特に文化に特化した取り組みについて、今後の展望とあわせてお聞かせください。

代表的な取り組みとして、京都新聞とJR西日本が主催する「京都日本画新展」に、弊社社長の社長が運営に携わるとともに出展作品を美術館「えき」KYOTOで展示し、文化への理解促進と若手作家の育成のお手伝いをさせていただいています。現在では日本画を志す方が目標とする展覧会となり、京都の文化振興に寄与できることを光栄に感じています。

また、京都商工会議所などの主催で和装文化の振興を目的に京都劇場にて開催される「ファッションカンター from KYOTO」を全面的に支援しています。京都に古来息づいてきた和装文化を世界へ発信していくことも我々の使命だと思っており、弊社をはじめJR西日本グループを挙げてこのイベントに取り組んでいます。

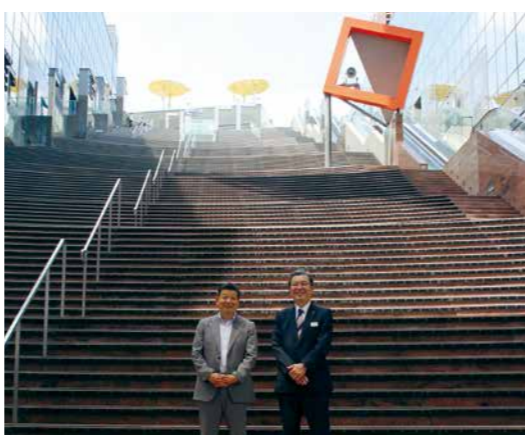
さらに「より身近に、より多く」伝統文化に直に触れていただけるよう、地元企業の皆さまと連携しながら、伝

統工芸や伝統芸能など、日本文化を気軽に気軽に体験いただける催しを計画しています。また京都市立芸術大学の学生の発表の場として、「駅ビアン」や「スリーコンサート」等の演奏会や作品展示、ワークショップなどを開催しています。同大学が2023年に京都駅の東に移転することも見据えてさらに連携を強くし、文化芸術の体験ができる機会を提供していきたいと考えています。

来春3月に
京都へ移転する新・文化庁に
期待することをお聞かせください

生活様式や行動様式の変化に伴い、厳しい環境にある文化芸術もあると思います。国の政策として本物の文化を残し次世代へ継承していくため、新・文化庁にはこうした課題を解決するための知恵や集積する情報の提供と、仕組みづくりを提案いただくことを期待します。

また京都には世界有数の文化観光都市です。この京都においては国際観光の促進と地域住民の生活の調



文化庁地域文化創生本部 高田事務局長

和という都市のもつ大きな課題があります。地域の祭や行事をはじめ、暮らしや生活の中に受け継がれてきた文化が壊されないよう文化の観点からも協力をお願いします。

今回の政府機関の地方移転、その端緒となる文化庁の京都移転は画期的なことと受け止めています。豊富な文化資源を活用できる京都から全国にしっかりとその取り組みを発信することが、今後の地方移転に先鞭をつけることとなります。期待やお願いはかりでなく、現在の地域文化創生本部との事業協力のよう、我々京都からも文化庁へ連携や協力など働き掛けをしていかなばなりません。JR西日本グループは「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」づくりを目指しています。京都をはじめ日本のそれぞれの地域における文化芸術や観光の振興に貢献していきたいと思

ようこそ!わが社のミュージアムへ

美術館「えき」KYOTOは、コレクションを持たず、国内外の美術館や博物館等から作品をお借りし現在まで約300本の展覧会を開催しています。国際文化観光都市京都の玄関口にある美術館として、文化性・話題性の高い様々なジャンルの展覧会を紹介し、次世代へ繋いでいける美術館となるよう、文化・芸術の促進活動を続けてまいります。

入館料 展覧会毎に異なる **休館日** 展覧会入替期間
営業時間 10:00~19:30(入館締切:19:00) ※最新の展覧会情報はHPにてご確認ください。

美術館「えき」KYOTO

京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町(ジェイアール京都伊勢丹7階)
TEL:075-352-1111(ジェイアール京都伊勢丹 大代表)
<https://kyoto.wjr-isetan.co.jp/museum/>

